

第 1752 回（5 月 25 日）

オーストラリア農業に影響を及ぼす 主要トレンドについて

ポール・リースミュラー
（クインズランド大学）

日本と同様に、オーストラリアの農業部門もこの 10 年間に様々な課題に直面している。オーストラリア政府による公的支援の削減に伴って、オーストラリア農業はより一層の自立を余儀なくされてきた。これと同時に、アジア太平洋地域が直面している金融問題のため、農業をめぐる国際環境はますます不安定になってきている。

日本市場でのシェア低下は、オーストラリア農業をよりリスクの高い市場に依存させつつある。オーストラリアの消費者は、食料消費を多様化させており、健康への配慮からコレステロールの高い肉の消費が減少している。農家は新しい農産物への移行を余儀なくされており、消費者ニーズに合う生産物販売を如何にうまく行うかをますます考えるようになってきた。

これまでオーストラリア農業は販売よりも生産に注意を払ってきたので、このことは重要な変化である。オーストラリア経済への農業部門の貢献は、低下を続けてきた。1995～96 年度の粗生産額と商業輸出額に占める農業部門のシェアは、それぞれ 3 %、20.9 %であったが、このシェアは 1950 年代初頭には粗生産額の 1/6、商業輸出額の 3/4 を占めていた。この低下傾向の逆転が起こることはないであろうが、それでも農業は引き続き重要な産業である。何故なら、多くの農村地域では農業は唯一の主要産業であるからである。

社会問題と環境問題が、農業にとって重要な問題となってきた。平均的家族経営農家の収益率が低いと、一般に若者たちが農業に従事することをためらっているように思われ

る。また、新しい情報処理技術の普及に伴って、これまで多くの小さな町にあったサービス産業が、地方の中心都市に移転するようになってきた。この結果、農村での雇用機会が減少し、農村の社会的アメニティが一般的に低下している。このため若者たちが農村地域に留まるインセンティブが低下している。

環境への関心の高まりに伴って、水の有効利用が政府にとって問題となってきた。水は稀少資源であるため（オーストラリアは人が居住する最も乾燥した大陸である）使用者はその市場価値を反映した価格を支払うことを余儀なくされている。

21 世紀初頭までに、市場メカニズムの導入がさらに進むのに伴って、拡大する産業と縮小する産業の分化が起こるであろう。農業はこのように多くの要因の影響を受けており、この部門の将来を短期的に予測することは難しい。しかし、長期的には、これまでに蓄積された資源と資本（人的及び物質的）を背景に、オーストラリア農業は発展を続けるであろう。

（文責：中川光弘）